

令和3年度予算編成方針

我孫子市水道局

はじめに

近年、水道事業は人口減少などに起因する水需要の縮小により、料金収入の減収や施設の効率性低下が進む一方で、老朽化した水道施設の更新等に多大な資金を必要としており、多くの水道事業者は厳しい経営状況に置かれています。

国は、水道事業者が将来にわたって安全な水を安定的に供給できるよう、経営基盤の強化を図るため、平成30年度に水道法の大幅な改正を行いました。このような国の動きを踏まえ、本市では、平成30年度末に我孫子市水道事業ビジョンや我孫子市水道事業基本計画などを策定しました。その中では50年先を見据えた将来像を示すとともに、「安全」、「強靱」、「持続」の3つの観点から地域の実情に応じた課題を抽出し、令和元年度から令和10年度までの水道事業経営の方針と事業計画を具体的に示しました。

令和3年度は、これらの計画の計画期間3年目にあたります。昨年度に引き続き、我孫子市水道事業ビジョン等に掲げた施策の着実な執行を図りつつ、収支バランスに留意して事業を推進していくことを、本市の水道事業経営の基本とします。

水道事業者には、安全な水を安定的に供給していくための取り組みが求められますが、本市水道事業においては、経営資源の減少により困難さを増す状況にあります。そのため、予算においては事業の健全性確保に最大限努めますが、将来に向けて多大な投資を賄う財政基盤の確保や施設運営にかかる組織体制の維持・強化に向けた課題が一層顕在化することが見込まれます。令和3年度の予算編成も、水道局職員一人一人の高い問題意識のもとで調製し、将来にわたって健全で安定的な事業運営が持続できるよう、引き続き事業の効果や効率性の精査を徹底していきます。

1. 令和元年度決算及び令和2年度上半期経営概況について

① 令和元年度決算の概況

令和元年度の水道事業会計の決算額（税抜）は、水道事業収益が25億2,702万8,539円（前年度比3.5%減）に対し、水道事業費用が22億3,499万6,449円（前年度比0.6%減）となり、総事業収支では黒字を確保しました。しかし、水道事業の本体である営業収支は9年連続でマイナス（営業損失）となり、水道事業の本体である営業収支の損失を営業外収益で賄う形となっています。

このように水道事業全体の収支は黒字であるものの、長期的には給水収益の縮小が進行していることや施設更新等による資金需要の増が一層見込まれることなどから、厳しい経営状況となっています。

② 令和2年度上半期における経営概況

令和2年度上半期（4月～9月）は、新型コロナウイルス感染症が拡大したために市民の生活様式が変化しました。この影響を受けて、水道水の使用量にも変化が生じ、令和2年4月から9月までの累計給水量は652万3,508㎥（前年同時期と比べ24万7,541㎥、3.9%の増）となり、営業収益（税抜）は前年同時期に比べて1.9%の増となりました。一方、営業費用（税抜）は、保守料や修繕費、人件費などが前年同時期に比べて低減傾向にあるため、2.2%の減となっています。

新型コロナウイルス感染症については、依然として収束の見通しがつかないことから、当面の間、水道使用量や営業収益は前年同時期に比べて増加する可能性があります。ただし、これにより営業収支の構造が大きく改善するには至らないことから、令和2年度の後半期においても、健全な水道事業経営に向け、適切な事業執行をしていきます。

2. 令和3年度予算編成基本方針

前述したとおり、令和3年度は我孫子市水道事業ビジョン等の計画期間の3年目となることから、これらに掲げた取り組みを着実に実施していきます。現状では、給水収益を柱とする営業収益では営業費用を賄うことができない構造的要因があるため、依然として厳しい予算調製となります。

このため収益的収支の予算については、可能な限り簡素で効率的な経営につながるよう、各々の事業の実績や効果を充分精査したうえで、所要額の調製をします。

資本的収支の予算のうち、建設改良事業については、我孫子市水道事業基本計画に掲げた整備事業を着実に執行することを念頭に置き、調製をします。このうち、浄水場の各種設備の整備では、適正規模での更新及び長寿命化等を踏まえて実施します。水道管路整備では、経年劣化配水管路を耐震化する布設替え工事などを行いますが、最大限経済合理性を確保して実施するものとします。これらの建設改良事業に必要な資金の一部は、企業債の借入により賄う予定ですが、起債対象事業の選定や当該事業における適債性判断等については、十分に協議・検討のうえ、所要の費用を見込むこととします。

このほか、自然災害や水質事故などに即応するための危機管理体制の強化、職員の技術継承を踏まえた人材育成の実践等、水道局の組織体制強化に向けた取り組みについても、実施内容を精査したうえで、所要額の計上をすることとします。

【令和3年度予算編成方針に基づく主な取り組み】

I. 安全

《良質な水道の維持》

- ・我孫子市水道事業水安全計画を活用した総合的な水質管理とリスクマネジメント
- ・自己水源（深井戸）の適正な維持管理

II. 強靱

《施設強靱性の維持》

- ・浄水場の各種設備の適正規模での設備更新と長寿命化に向けた計画的修繕工事の実施
- ・経年劣化配水管路の耐震化への布設替え工事の実施

《災害対応の強化》

- ・災害や水質事故等に即応する危機管理体制強化のための訓練実施

III. 持続

《水道事業の継続性確保》

- ・アセットマネジメントの活用
- ・水資源の効率的な活用方法の検討
- ・浄水場系および料金・給水・会計系の包括委託の実施によるお客様サービスの向上と業務の効率化
- ・職員人材育成の実践

《財政健全性確保》

- ・企業債の活用による費用の平準化

《将来につなげる新施策の検討》

- ・水道事業運営手法や水道への再生可能エネルギー導入等の検討
（最新知見や先進事業者の動向に注視）